allcinema

奇跡（1954）

ORDET
THE WORD

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ベルギー／デンマーク
色彩 B&W
時間 126分
初公開日 1979/02/10
公開情報 フランス映画社

【解説】

映画を通して常に真理を掴もうとしていたドライエルの、サイレント期の「裁かるゝジャンヌ」に匹敵する重要作で、あちらが情熱的な祈りと信仰的葛藤の果てに辿り着く静謐な境地を描く映画だとしたら、おだやかな祈りが情熱のさざ波に洗われた末、見出す光を疑いなく信じる力強い作品がこの「奇跡」だ。３０年代のデンマーク・ユトランド半島の大農場主ボーエン家の人々の生き方（真面目だが信仰心の薄い長男、神学を追究しすぎて気がふれた次男、対立宗派の娘と結婚し悶着を起こす三男）を通じ、ドライエルは信仰の可能性を問うのだが、最後、一家を支える信仰篤き長男の嫁が難産の末に死に、その悲運に接し正気を取り戻した次男の敬虔な祈りで映画は幕を閉じる。それはまさにキリストの復活劇を思わす崇高な瞬間であり、常に幻想の衣を纏っていた映画が裸になり、夢そのものになるような至福を見させる。寡作なドライエルはそれから十数年後、いよいよキリストの伝記映画にとりかかる直前に病没した。

【クレジット】

監督	カール・テオドール・ドライエル	Carl Theodor Dreyer
原作	カイ・ムンク	Kaj Munk
脚本	カール・テオドール・ドライエル	Carl Theodor Dreyer
撮影	ヘニング・ベンツェン	Henning Bentsen
音楽	ポウル・シーアベック	Poul Schierbeck
出演	ヘンリク・マルベルイ	Henrik Malberg
	エミル・ハス・クリステンセン	Emil Hass Christensen
	プレーベン・レーアドルフ・リュ	Preben Lerdorff Rye
	ビアギッテ・フェダースピール	Birgitte Federspiel

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.